

長野県に新たに加わる植物 Ⅲ

横 内 斎

I. Yokouchi: Some new plants to Nagano Prefecture Ⅲ

アメリカオニアザミ *Cirsium vulgare* (Savi) Tenore 昭和50年7月29日松本市中山で、横内文人が採集した。

バラモンギク (キバナムギナデシコ) *Tragopogon pratensis* L. 欧州および西アジア原産の帰化植物。昭和50年6月8日東筑摩郡四賀村反町で、横内文人が採集した。

コギシギシ *Rumex nipponicus* Fr. et Sav. 昨年、東筑摩郡四賀村会田で採集した。下水内郡にも産することが分っている。

マルバケヤキ *Zelkova serrata* Makino f. *rotundifolia* Sugimoto 5月頃の葉は、ほぼ100円硬貨大、ほとんど真円であるが、8月頃には天保銭大の広楕円形となる。この枝の先から新枝を生ずるが、その葉は正常形である。しかし、この新枝の葉は翌年には円形となるらしい。昭和50年5月1日諏訪郡富士見町落合で採集した。

ビワバコナラ *Quercus serrata* (Thunb.) Makino f. *pseudovariabilis* (Nakai) Sugimoto 昨年諏訪郡富士見町落合で採集した。

クロススキ *Miscanthus sinensis* Anders. f. *nigrescens* Sugimoto 昭和50年11月1日岡谷市川岸で採集した。

カナヤマザサ *Sasa kanayamaensis* Nakai 一昨年諏訪郡富士見町で採集した。

コバイチョウ *Ginkgo biloba* L. f. *parvifolia* Sugimoto 灌木性、樹高3m内外、葉は成木のもので、通常の1/2ぐらいである。昭和50年5月30日北安曇郡小谷村戸土で採集した。

マメイチョウ (コミノシダレイチョウ) f. *microsperma* Sugimoto 浅間温泉には樹高20mにおよぶ大木があり、太い枝は見事に3mに垂れている。種子は小さく母種の約1/2であるが、つき方は密である。また、落葉後も種子は長く残っている。ふつう種子は落葉後ほとんど残っていない。昭和50年10月10日松本市浅間温泉びわの湯駐車場および旧信大文理学部構内で、松田行雄、横内文人らと発見した。ほかに、更埴市桑原にある。

以上、新品種の考定には杉本順一に負うところが大きい。また、ササの同定は室井緯氏をわずらわした。厚く御礼申し上げる。

(注) 上記のマルバケヤキ、クロススキ、コバイチョウ、マメイチョウの学名は、まだ正式に発表されていない。(T. S. 記)